



**Elysium
InfiPoints®**



InfiPoints May 2025 Update のご案内

2025/5/23

株式会社エリジオン

目次

1. InfiPoints May 2025 Update のバージョンアップ内容	1
1.1. 主な機能改善項目	1
1.2. その他の機能改善および仕様変更	4
1.3. 修正された主な問題	8
2. 既知の問題点	9
3. 推奨動作環境	10

1. InfiPoints May 2025 Update のバージョンアップ内容

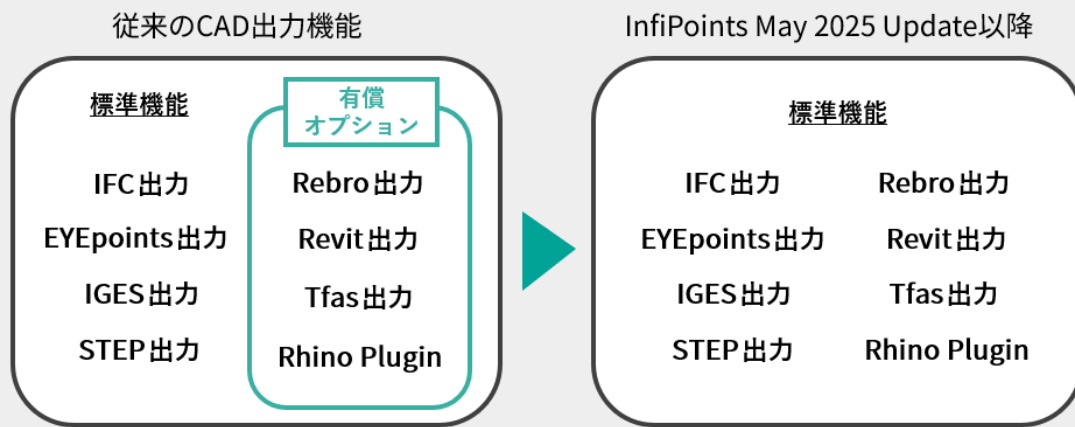
1.1. 主な機能改善項目

ライセンス構成の変更

BIM/CAD 出力オプションの一部を標準機能化

BIM 系オプション (Rebro、Tfas、Revit) と Rhino オプションを InfiPoints 標準機能としてご利用いただけるようになりました。

(補足: VR オプション、CAD オプションは従来通り専用オプションとして継続)



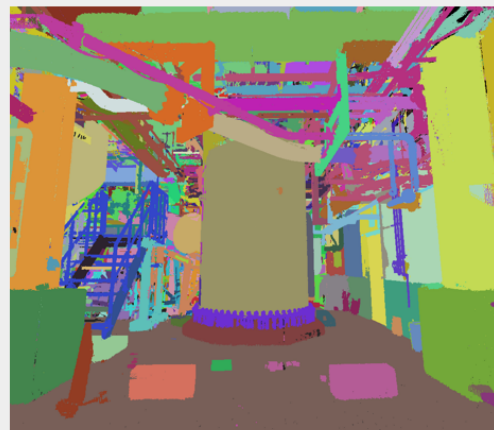
点群の自動セグメンテーション

点群の自動セグメンテーションに対応

点群をオブジェクト単位に自動で領域分けできるようになりました。各領域の点群はレイヤとして保存されます。



点群データ (セグメント分け前)

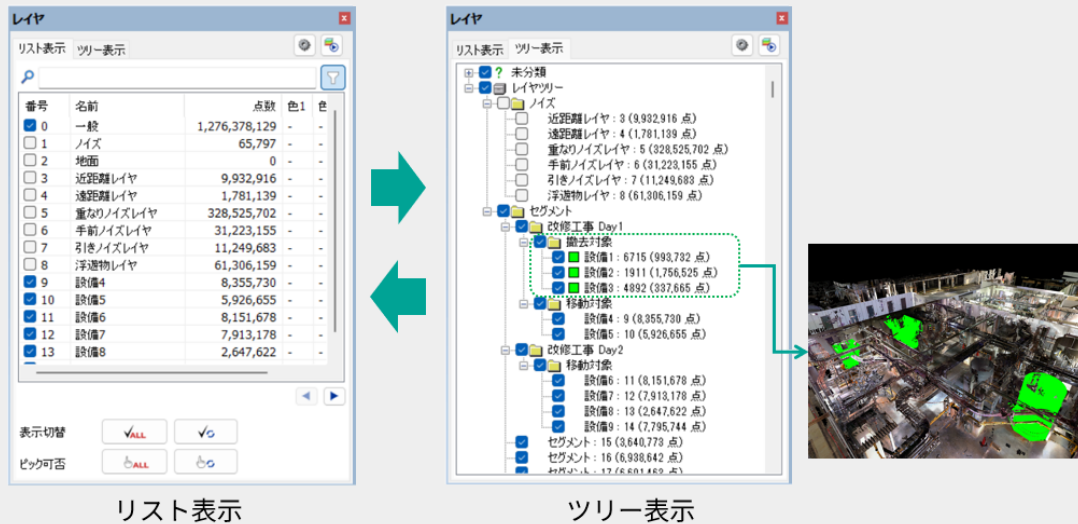


点群データ (セグメント分け後)

レイヤ機能の拡充

レイヤ機能の拡充によりツリー表示に対応

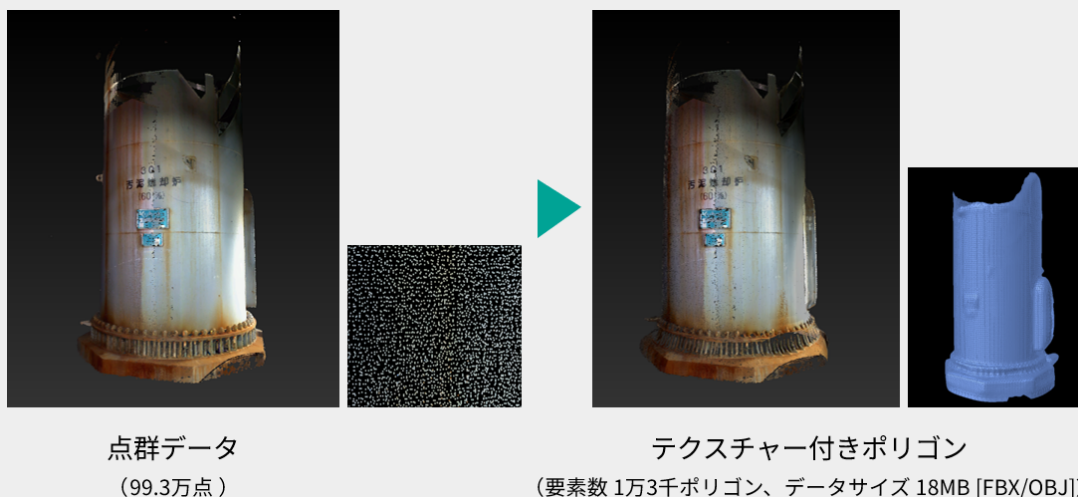
格納上限数を大幅に拡張 (256 個 → 65,536 個) したほか、新たにツリー構造にも対応しました。設備の種別や工事の工程などに応じてレイヤをグループに振り分けたり、複数レイヤをグループ単位で表示・非表示、色付けしたりすることができます。



ポリゴンデータのテクスチャー作成

ポリゴンデータのテクスチャー作成に対応

ポリゴンデータについて、点群や写真を基にテクスチャーを自動生成できるようになりました。軽量で写実的な 3D モデルを手軽に作成することができます。

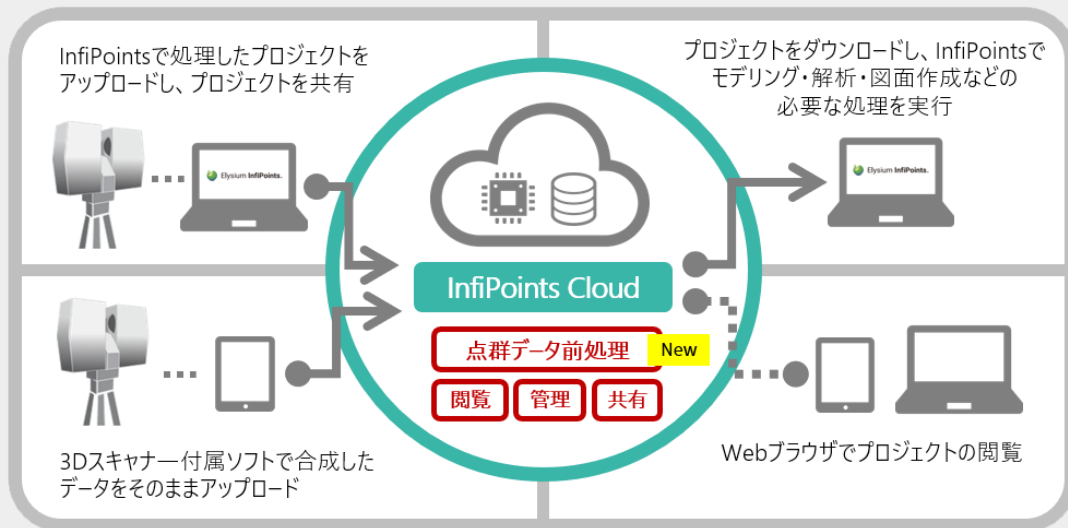


InfiPoints Cloud での点群処理

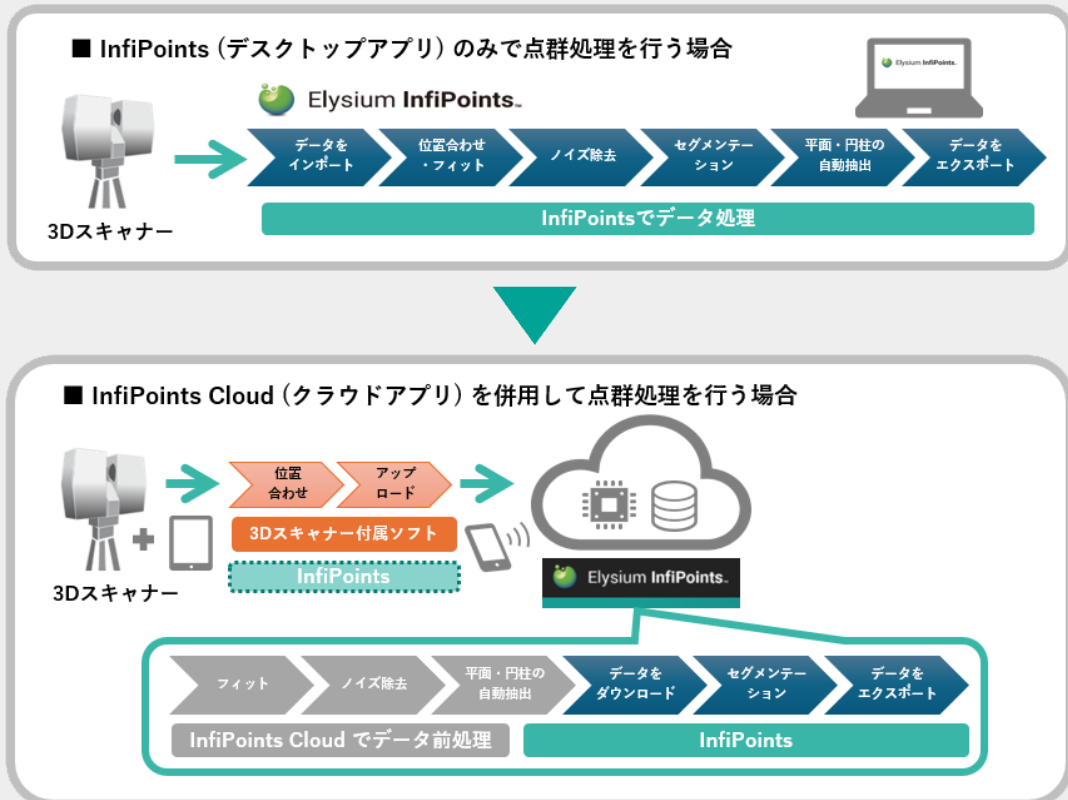
InfiPoints Cloud に点群処理機能を追加

点群をアップロードしてクラウドで自動処理できるようになりました。
(成果物データ共有の場合から、処理も含めた点群活用の入口に)

InfiPoints の保守をご契約いただいているお客様は、自動処理含め、InfiPoints Cloud の全機能について、一定のリソース範囲まで標準機能としてご利用いただけます。詳細については [InfiPoints Cloud の製品紹介ページ](#) を参照してください。



操作の流れは以下のようになります。



1.2. その他の機能改善および仕様変更

No.	内容	サポートID
1	配管ツリーなどで、作成順および名前順に並び替えができるようにしました。	-
2	パノラマ表示で閲覧用ファイルを出力した場合に、パノラマ画像が出力されるように動作を変更しました。	00075742 00075796 00075781
3	[ポリゴン生成] > [点群のゆらぎを滑らかにして近似] 機能において、ポリゴンの細かさの範囲を変更してより粗いポリゴンを生成できるようにしました。	-
4	パノラマ画像に基づくテクスチャ作成機能 (平面・配管) が、NavVis VXL 由来のデータに対応しました。	-
5	[原点指定] で、軸方向を維持したまま指定された点を原点にするための機能を追加しました。	00077447 00072351
6	点群要素の座標系を、他の点群要素に同期して動かすことができるようにしました。また、fls ファイルからスキャン間の同期情報を読み取って、自動的に同期設定を行えるようにしました。	00071937
7	OBJ ファイルのインポートおよびエクスポートで、鉛直方向の軸を選択できるようにしました。	-
8	OBJ ファイルをエクスポートする際に、各要素のローカル座標で出力できるようにしました。	-
9	OBJ ファイルのエクスポートで、ポリゴンのテクスチャも出力できるようにしました。	00059026 00066815 00066935 00067565 00073160
10	FBX ファイルのエクスポートで、ポリゴンのテクスチャも出力できるようにしました。	00078612
11	クリッピングボックスを周囲の点群または平面の向きに合わせて作成するオプションを追加しました。	00072944
12	2 点を通る鉛直断面を設定する機能を追加しました。	00074918
13	以下のコマンドを実行した際に、回転中心が自動で切り替わらないように動作を変更しました。 - 鋼材の編集 - クリッピングボックスの作成 - クリッピングボックス内の要素のみを表示 - 断面での切り取り	00076944 00074097 00059818 00077138
14	"回転中心(自動)" を設定するためのショートカットキーを追加しました。	00076944 00074097 00059818 00077138

No.	内容	サポートID
15	格子情報の無い点群についてもアンロードできるようにしました。NavVis で計測したデータに含まれるパノラマ画像のみを別プロジェクトや閲覧用ファイルに出力したい場合などに有効です。	-
16	クリッピングボックス、断面、およびゾーン内の点をハイライト表示した際に、グラデーション表示されるように動作を変更しました。	-
17	平面、配管、ダクト要素を、各要素のローカル座標系の方向に移動できるように移動ツールの動作を変更しました。	00067551
18	図面出力時の背景画像の背景色を透明に変更しました。	00077864
19	近接したパノラマ画像のアイコンが、不自然に大きく表示されることがある挙動を改善しました。	00075742
20	クリッピングボックス作成のオプションパネルに、作成するクリッピングボックスの1辺の長さを指定するオプションを追加しました。	00072299
21	指定したレイヤへのフィット、および指定したレイヤの周辺表示ができるようにしました。	-
22	テキスト形式の点群をエクスポートする際、ゾーンごとに出力することもできるようにしました。	-
23	点群色の平滑化を行う際に、非表示レイヤの点は使用しないように動作を変更しました。	-
24	ZFS ファイルをインポートする際、回転行列の精度が低い場合には補正を行うようにしました。	00078240
25	平面の平行移動と押し出しに関してユーザーインターフェイスを改善しました。	-
26	VRML ファイルのエクスポートで、ポリゴンの色も出力できるようにしました。	-
27	平面円柱抽出メニューのオプション、および格子情報付き点群のインポートオプションで、配管のその他の接続部品をボックスを挿入せずに作成することもできるようにしました。インポートオプションを変更した格子情報付き点群の種類は DotProduct、E57、FLS、PTX、ReCap、ZFS です。	-
28	自動位置合わせの際に、計測時の鉛直方向に合わせて処理を行うようにしました。また、オプションをオフにすることで直前の各点群の鉛直方向を維持できるようにもしました。	-
29	平面・円柱抽出を実行する際、非表示レイヤに属する点の方が多い領域でも、表示レイヤ内の点を対象に抽出を行うように動作を変更しました	00057410 00060775
30	[別プロジェクトのインポート] コマンドで、CAD モデルやポリゴンもインポートできるように動作を変更しました。	00080772
31	配管情報を CSV ファイルに出力するための機能を追加しました。	
32	注記パネルおよび寸法パネルの [書き出し] ボタンをクリックした際に表示される "名前をつけて保存" ダイアログに、"表示中の要素のみ" チェックボックスを追加しました。	-

No.	内容	サポートID
33	平面モデリングの整列に関するオプションを拡充し、複数の平面グループを同一の基準で整列できるようにしました。また、モデリングを行っていない単独平面も選択できるようにした上で、メニュー名を "整列(平面グループ)" から "整列(個別)" に変更しました。	-
34	レイヤのコンテキストメニューに、"点群をエクスポート" コマンドを追加しました。レイヤを選択して点群をエクスポートできるようになりました。	-
35	レイヤを複数選択した状態で、コンテキストメニューから "新たな点群パートにコピーする" を実行できるようにしました。また、コピーする際のオプションに "複数のレイヤを一つの点群パートにまとめる" を追加しました。	-
36	平面円柱抽出に "手摺・蛍光灯を検出する" オプションを追加しました。	-
37	反射強度表示の表示範囲を、表示中の点群に基づいて自動的に調節する機能を追加しました。	-
38	クラウドタブを追加しました。またクラウド連携機能の拡充を行いました。	-
39	InfiPoints Cloud Uploader の名称を InfiPoints Cloud Connect に変更し、InfiPoints Cloud 上のプロジェクトをダウンロードするための機能を追加しました。	-
40	InfiPoints Cloud Connect のアップロードに、"アンロードされた点群も含めてアップロードする" オプションを追加しました。このオプションはデフォルトでは無効になっています。	-
41	映り込んだ人物を自動検出する機能を画像修復機能に追加しました。検出された人物を消去するように画像を修復することができます。	-
42	格子情報の無い点群を対象として平面・円柱抽出を実行する際のオプションから、"サンプリング点数を増やす" を削除しました。代わりに、速度を優先するか面抽出率を優先するかを設定するためのスライダーを追加しました。	-
43	格子情報の無い点群を対象として平面・円柱抽出を実行する際のオプションから、"複数フロアのデータから抽出を行う" を削除しました。InfiPoints May 2025 Update 以降では、常に床の点をピックする必要があります。	00080754
44	平面・円柱抽出機能の配管自動抽出性能を改善しました。主として細い配管の抽出率を向上するとともに、円柱ではない形状の過検出を抑制しました。	-
45	[InfiPoints for Revit] 鋼材のプロパティに表示される値のデフォルトの桁数を、小数第二桁までに変更しました。	00066271
46	[InfiPoints for Revit] ダクトで作ったモデルをケーブルラックのファミリーとして Revit に渡せるようにしました。	00072753
47	[InfiPoints for Revit] 斜めの壁要素および天井要素の作成に対応しました。	00066971

No.	内容	サポートID
48	[InfiPoints for SRD] SRD のインターフェイスからシーンの更新および追加ができるようにしました。	-

1.3. 修正された主な問題

No.	内容	サポートID
1	3D DWG モデルのフェースがピックできないことがある問題を修正しました。	00077010
2	画像要素のマーカーを描画する際、正しく奥行きを判定して描画するように修正しました。	-
3	CAD モデルや点群などのファイルを InfiPoints.exe にドラッグアンドドロップしてインポートすると、インポート処理終了後に InfiPoints が強制終了する問題を修正しました。この現象は、ドラッグアンドドロップに限らず、InfiPoints.exe に対してコマンドライン引数でファイルを指定してインポートした場合に発生していました。	-
4	ワイヤフレーム表示となっている場合に CAD モデルのフェースがピックできない問題を修正しました。	-
5	サブグループ内に点群以外の非表示の要素が存在している場合に、全体フィットが実行できないことがある問題を修正しました。	00070426
6	高精細イメージ出力で正射影表示のビューを出力する場合に、出力された画像がゆがむことがある問題を修正しました。これにより、ビューと異なる縦横比を指定した場合に、画像の出力範囲が縦方向に伸縮するようになりました。	-
7	非常に大きな座標値の点が含まれる点群を開いている状態で正射断面モードにすると、InfiPoints が応答しなくなることがある問題を修正しました。	-
8	複数のポリゴンが重なるような位置にある場合などに、ポリゴンフェースのピックを正しく行えないことがある問題を修正しました。	-
9	シーンから視点を適用する際に、回転中心の設定が正しく反映されないことがある問題を修正しました。	-
10	Front パネルの [位置合わせ用設定] > [移動ハンドル表示] の設定値が正しく保存されない問題を修正しました。	-
11	別プロジェクトのインポートを実行する際、インポートするプロジェクトに配置されている鋼材等を正しく再現できない問題を修正しました。正しくインポートを行うためには、InfiPoints May 2025 Update 以降でプロジェクトを保存し直す必要があります。	-

2. 既知の問題点

No.	内容
1	NVIDIA製品用ドライバを 361.75 (28.1.2016) 以降にすると InfiPoints の処理が遅くなることがあります。この現象は NVIDIA コントロールパネルの [3D設定] > [3D設定の管理] で "グローバル設定" の [グローバルプリセット] の一覧から "Workstation App - Dynamic Streaming" を選択することで回避できます。

3. 推奨動作環境

Elysium InfiPoints

CPU	下記 OS が稼働可能な CPU
メモリー	16GB 以上
OS	Windows 10 Pro 64-bit, Windows 11 Pro ^{*1}
ディスプレイ	1280×1024 ドット以上表示可能なディスプレイ
グラフィック	OpenGL ^{*2} をサポートするビデオカード (製品例: Quadro, GeForce) <ul style="list-style-type: none">• Intel HD Graphics などプロセッサ内蔵グラフィックコントローラでは、点群の表示が不安定になることがあります。• リモートデスクトップ接続で使用した場合、OpenGL が無効になることがあります。

Elysium InfiPoints for VR

CPU	Intel i5-4590 相当もしくはそれ以上の CPU
メモリー	8GB 以上
OS	Windows 10 Pro 64-bit, Windows 11 Pro ^{*1}
グラフィック	NVIDIA GTX 1060 / AMD Radeon RX 480 もしくはそれ以上

- サポートする VR 機器など、詳細な動作要件については "Elysium InfiPoints for VR Manual" を参照してください。
- VR 機器の動作要件についてはそれぞれの製品の Web サイトをご参照ください。
(Elysium InfiPoints と Elysium InfiPoints for VR を同一のコンピューター上で実行する場合、NVIDIA GTX 1060 もしくはそれ以上の性能のビデオカードを推奨します。)

Elysium InfiPoints for Revit

対象バージョン	Revit 2024 [®] , Revit 2025 [®]
OS	Windows 10, Windows 11 ^{*1}
対象言語	日本語、英語
その他	Revit 2024 [®] または Revit 2025 [®] の動作環境に準ずる。

Elysium InfiPoints for Rhino

対象バージョン	Rhinoceros [®] 7, Rhinoceros [®] 8
OS	Rhinoceros [®] 7: Windows 10, Windows 11 ^{*1} Rhinoceros [®] 8: Windows 10, Windows 11 ^{*1}
対応言語	日本語、英語
その他	Rhinoceros [®] の動作環境に準ずる。

(*1) Windows は米国 Microsoft 社の登録商標です。

(*2) OpenGL は米国 Hewlett Packard Enterprise 社の登録商標です。

本コンテンツに関わる著作権は株式会社エリジオンもしくは原権利者に帰属しています。
著作権者の承諾なしに無断で改変、複製、転載、再配布、転送、公衆送信、販売、貸与などの
行為をすることは禁じられています。